

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：国際日本学部 名前：恩塚 千代 作成日：2023年12月19日

1. 教育の責任

日本語教育を専門としている。本学における担当科目として、留学生に対する日本語の授業では、討論・発表に重点を置いた日本語の運用能力の向上をめざしている。日本語教師をめざす学生への日本語教育に関する授業では、日本語の教授に必要な日本語学の知識、および教育実習に必要な技術・経験を教授しているが、何より、日本語ネイティブとして使用してきた日本語を一外国語として学習者の立場から見られるようになること、多角的な視点を持ち多様な社会で生きていく力を身につけることを教育目標と考え、学生達に考えさせる授業を行っている。また、大学院生に対しては、日本語学・日本語教育学に関する研究の基本、論文の書き方、発表の仕方を身につけられるよう授業を行っている。

さらに、通信機養育部(日本語教師養成コース)のコーディネーターとしては、「世界の日本語教育」の他、「日本語教育実習」「卒業研究(卒論指導)」を担当し、本学における実学の普及に協力しているほか、2024年度からの日本語教師の国家資格化にともなうカリキュラムやシラバスの変更・改善に取り組んでいる。

具体的な授業科目は以下の通り。

【2023年度】

「日本語総合 A I」「日本語総合 A II」「キャリアデザイン I・II」(留学生対象科目)

「日本語教育概論 I・II」「日本語音声学・音韻論」「多文化社会コミュニケーション論」(日本語教育関連専門科目)

「日本語教育特殊研究 III・IV」「比較文化特別研究 I・II (論文指導)」(大学院科目)

「世界の日本語教育」「日本語教育実習」「卒業研究(卒論指導)」(通信教育科目)

2. 教育の理念

「“STUDY FOR LIFE (生涯にわたる、人生のための学び)”に基づき、豊かな教養と専門的学術、旺盛な自己開発精神、優れた国際感覚及び問題解決能力を備えた人材を育成し、地域の教育・研究および生涯学習の中心として、地域社会・国際社会に貢献することを目的とする」という本学の教育目的をふまえ、国際感覚を身につけ、地域社会、そして国際社会に貢献する人材を育成することを目標としている。

前職の公立中学校、私立の中高一貫校の管理職にあっても、常に「Glocalization」を教育の主軸として唱え、学校運営やコース設定を行ってきた。すなわち「地域を学んで世界に発信し、世界を知って地域に還元する」を自身の教育ポリシーとしてきた。現在、「日本を知り、世界を知る。世界を知り、日本を振り返る。」という大手前大学の国際日本学部を身置き、まさに「我が意を得たり」の感で教育を行っている。

これから学び、社会に出る人たちに身につけてほしいものは以下の3つである。

- ①多文化・多様な社会に接してそれを受け入れる柔軟さと多角的な視野。
- ②既得権益にとらわれず現状を打破する勇気。
- ③既存のものや意見に反対するときには、必ず代替案を提示できる創造力。

3. 教育の方法

【教育の目的と目標】

- ・日本語教育を志す学生に必要な専門知識や教師としての心得を身につけてもらうこと。さらに、学生の人間的成長を促す。
- ・留学生においては、キャリアに必要な日本語の運用力を向上させ、日本での留学経験を有意義に活かせる道を見つけること。

【授業のスタイル】

- ・日本語教育に必要な日本語学一般、及び第二言語習得に関わる学習ストラテジーや心理学など、知識注入が必要な部分は基本的に講義形式で、座学中心になるが、基本的には学生達に問いを発して考えさせ、発言させる双方向的な学習スタイルを取っている。
- ・毎回、学生の理解度を測るために課題(振り返りワークシートやレポート)を提出させる。
- ・単元ごと、また学期末には発表をさせる。

ティーチング・ポートフォリオ

大学名：大手前大学 所属：国際日本学部 名前：恩塚 千代 作成日：2023年12月19日

・提出された課題は、必ずチェック(留学生のレポートに対しては日本語の添削を含む)し、毎回、個人にフィードバックする。
・授業後には el-Campus のお知らせ機能で、欠席者への対応を含めた「リマインダー」を発信している。すなわち、授業の内容と課題、提出日等である。

【教科書の選定】

最近では教科書、専門書も高価なものが多いので、ひとつの単位(科目)受講で、学生に複数の教科書を買わせることがないように、学期で教える内容に合致しつつも教授内容を網羅しているような本を選んでいる。

【シラバスについて】

大学の WEB 上の科目シラバスとは別に、学生達への注意事項、その授業の受講ルール、単位取得の条件などを加筆したシラバスを配布している。

【課外活動】

日本語教育をめざす学生を対象に、同じメジャーの先生方と課外サークルを運営している。このサークルでは、留学生との交流を兼ねた日本語を教える体験の場を提供し、日本語教育能力検定試験対策講座やアニメ映画のシナリオ朗読会等の学びの場を構築している。

4. 教育の成果

本学における成果としては、まだ専門科目を担当して1年なので、なんとも言えない。しかし、過去の複数の大学(前職)での教授経験では、常に学生の授業評価が4.3~4.8(5点満点)を保っていたので、学生の授業満足度は高いほうだと自負している。また、学生の中には日本語学校の教師や大学教員となり活躍している人たちもたくさんいる。しかし、「日本語音声学・音韻論」を受講してとてもおもしろかった、日本語に興味を持ったという学生が恩塚ゼミを希望してきた。

成果の基準としては、上記の学生評価や授業アンケートなどを指標としている。

5. 改善への努力と今後の目標

*この一年も、課題のチェック・採点・日本語の添削に時間を取られ、授業準備に少し時間をかけすぎていると感じた。今後、ゼミや卒業研究、学部・大学院の論文等で学生指導の時間が増えていくことが予想されるので、学生へのフィードバックは継続したまま、もう少し効率の良い方法を考えなければならぬと感じている。

*採点の時間を短縮するために、課題の自己点検やピア・ラーニング、el-Campus での小テスト(自動採点)などを積極的に取り入れていく。(留学生を除く)

*課外活動等は、日本語教育担当教員で分担していく。

*今後とも、アクティブラーニングを取り入れながら、学生達が自律的に学習を進めていけるような授業をめざす。

【添付資料】

「日本語教育概論 I・II」シラバス

「日本語音声学・音韻論」シラバス

「日本語総合 A II」(留学生用)の自作教材の一部

開講年度	2023		開講学期	春学期
科目コード	ZG0025	授業コード	40220	
科目名	日本語教育概論 I		開講曜日・時限	木曜4限
担当教員名【代表】	恩塚 千代 (Chiyo Onzuka)			
担当教員				
授業形態	講義			
単位数	2単位			
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること。			
授業の目的	外国語として日本語を習得すること、非母語話者に日本語を教えることとはどういうことか考える。日本語・日本語教育の基礎知識を身につけ、日本語教師の仕事内容にも触れていく。			
授業の内容				
①能力開発メソッド	帰納的・論理的思考力、分析力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力			
②課題レポート等	授業内容確認のための課題やレポートを出す。			
③授業概要	日本語教師として30年以上現場に立っている経験を活かし、日本語教育の基礎となる知識、日本語教師としての視点、テクニックを学ぶための授業を行う。「日本語教育概論 I」では、主に日本語という言語の特徴(日本語の特性、音声、文法、文字・表記)について学ぶ。 また、「日本語教育能力検定試験」の過去問も紹介しながら、試験対策にも役立てる。 講義形式ではあるが、一方的に聞くだけの授業ではなく、確認問題を解きながらクラス内ディスカッション、発表なども含めた学生参加型の授業を予定している。			
授業時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業内容について整理してまとめること。 ・授業内で出された課題解決のために、関連分野の資料などを参考にして、発表準備をする。 			
授業計画				
	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	ガイダンス	授業の概要説明 この授業の目的、履修上のルール等について説明する。 ・導入：言語類型論からみた日本語	次回授業の予習
02	知識／能力	言語としての日本語	日本語の特性 ・数の意識 ・語順(情報の後置性、修飾の方法) ・動詞の省略、主語の省略	授業内容確認課題
03	知識／能力	日本語の音声	音声学からみた日本語 ・日本語の「音」 ・日本語のリズム「音節」と「拍」 ・日本語の母音、子音、半母音	授業内容確認課題
04	知識／能力	日本語の音素	音韻論から見た日本語 ・日本語の「音素」-音素とは何か- ・音韻認識と表記 ・音韻認識と意味	授業内容確認課題
05	知識／能力	超分節的特徴	・日本語のアクセント(スライド演習) ・日本語のイントネーション ・日本語の音声指導 ・日本語教師の音声訓練	授業内容確認課題
06	知識／能力	日本語の文法①	日本語教育における品詞分類 ・動詞の種類と活用 ・日本語の文法的特徴	授業内容確認課題
07	知識／能力	日本語の文法②	日本語教育における品詞分類 ・名詞と名詞句 ・指示詞の概念と教え方 ・形容詞	授業内容確認課題
08	知識／能力	日本語の文法③	日本語教育における文型の導入 ・希望、欲求の表現 ・「いる」「ある」存在文と所在文 ・「～ている」の導入	授業内容確認課題

09	知識／能力	日本語の文法④	日本語教育における文型の導入 ・可能表現 ・使役表現 ・受身表現 ・授受表現	授業内容確認課題
10	知識／能力	日本語の文法⑤	・助詞の分類 ・「は」と「が」 ・助動詞 ・助詞の誤用分析	・誤用を減らす方策レポート ・教案づくり
11	知識／能力	文型分析と実習	既習の文法事項を使った教案を作成し、実際に導入してみる。	・誤用を減らす方策レポート ・教案づくり
12	知識／能力	文型分析と実習	既習の文法事項を使った教案を作成し、実際に導入してみる。	・感想と反省レポート ・教案提出
13	知識／能力	文字・表記	日本語の文字 ・漢字、ひらがな、カタカナ ・送り仮名の付け方 ・現代仮名遣い	授業内容確認課題
14	知識／能力	文字・表記	日本語の表記 ・外来語の表記 ・ローマ字 ・記号の使い方 (日本語の文字・表記の歴史)	授業内容確認課題
15	知識／能力	ふり返りとまとめ	授業の進度調整、期末小テストを行う。	単位修得最終レポート

到達目標と学習成果

①知識レベル	日本語教育と第二言語習得に関する基本的な知識を身につける。
②能力レベル	・日本語を一つの言語として客観的に見ることができる。 ・自らの外国語学習体験と関連付けながら、非母語話者が日本語を学ぶ際の問題点を具体的に考えることができる。

C-PLATS (Level)到達基準

コミュニケーション	2	プレゼンテーション	1	リダクション ^o	-	行動力	
創造力	-	計画力	1	論理的思考力	2	分析力	1
チームワーク力	-	社会的責任	-				

成績評価の基準と方法	出席率（30％）、提出課題（30％）を客観的に算出し、授業への参加度を含む意見発表と取り組み姿勢(小テスト含む)など（40％）を総合的に評価する。
教科書	高見澤孟ほか著『新・はじめての日本語教育1-日本語教育の基礎知識-』アスク出版、2016年、ISBN9784872179934
参考図書	荒川洋平『日本語教育のスタートライン』スリーエーネットワーク 坂本正ほか監修『日本語教育への道しるべ 第2巻』凡人社 鈴木基伸・梅野由香里『日本語教育の始め方』研究社
授業に関する質問等の方法	①chanco@otemae.ac.jpまでメールで質問をしてください。 ②(事前約束をして)オフィスアワー内に研究室に来てください。
備考	2回目以降の授業を特別な理由なく4回以上欠席した場合は、単位の取得が困難となります。諸般の事情で授業の進捗が変更される場合があります。 【本授業は、実務経験を有する教員が担当し、当該の経験を活かした内容を教授します】

開講年度	2023		開講学期	秋学期
科目コード	ZG0343	授業コード	45228	
科目名	日本語教育概論Ⅱ		開講曜日・時限	木曜4限
担当教員名【代表】	恩塚 千代 (Chiyo Onzuka)			
担当教員				
授業形態	講義			
単位数	2単位			
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること。			
授業の目的	外国語として日本語を習得すること、非母語話者に日本語を教えることとはどういうことか考える。日本語・日本語教育の基礎知識を身につけ、日本語教師の仕事内容にも触れていく。			
授業の内容				
①能力開発メソッド	帰納的・論理的思考力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力			
②課題レポート等	授業内容確認のための課題やレポートを出す。			
③授業概要	日本語教師として30年以上現場に立っている経験を活かし、外国語として日本語を「学ぶ」・「教える」とはということなのかを考え、日本語教師の仕事に絡めて授業を行う。「日本語教育概論Ⅱ」では、主に社会における日本語の運用(言語政策や語彙、社会言語学)や第二言語習得における学習者の心理、学習ストラテジーなどについて学ぶ。また、「日本語教育能力検定試験」の過去問も紹介しながら、試験対策にも役立てる。講義形式ではあるが、一方的に聞くだけの授業ではなく、確認問題を解きながらクラス内ディスカッション、発表なども含めた学生参加型の授業を予定している。			
授業時間外学習	・毎回の授業内容について整理してまとめること。 ・授業内で出された課題解決のために、関連分野の資料などを参考にして、発表準備をする。			
授業計画				
	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	授業ガイダンス 日本語クイズ	この授業の目的、履修上のルール等について説明する。 ・日本語に関するクイズ	次回授業の予習
02	知識／能力	日本語の語彙	・語彙と語の違い ・語種と語構成 ・語彙の体系	授業内容確認課題
03	知識／能力	社会言語学①	社会言語学とは ・敬語 ・方言と共通語	授業内容確認課題
04	知識／能力	社会言語学②	コミュニケーションストラテジー ・言語によるコミュニケーション ・非言語コミュニケーション	授業内容確認課題
05	知識／能力	社会言語学③	・言語接触 ・位相と役割語	授業内容確認課題
06	知識／能力	対照言語学	・対照言語学と比較言語学の違い ・方法論について ・干渉と誤用分析 ・対照研究の対象(音声と音韻、形態論、統語論、表現、語彙、言語行動など)	授業内容確認課題
07	知識／能力	中間発表	対照研究をしてみよう。 自分でテーマを決めて、ミニ発表をする。	・スライド、ハンドアウトの準備 ・皆のコメント(質問)と反省レポート
08	知識／能力	中間発表	対照研究をしてみよう。 自分でテーマを決めて、ミニ発表をする。	・スライド、ハンドアウトの準備 ・皆のコメント(質問)と反省レポート
09	知識／能力	学習心理① 学ぶということのメカニズム	・日本語教育と心理学 ・「学習」とは ・発達と学習の関係	授業内容確認課題

10	知識／能力	学習心理② 学ぶということのメカニズム	・初期学習 ・言語の習得と臨界期 ・条件付け学習	授業内容確認課題
11	知識／能力	第二言語習得①	母語習得とは何が違うのか？ ・誤用分析 ・中間言語 ・化石化	授業内容確認課題
12	知識／能力	第二言語習得②	・母語の影響 ・外国人との会話とフォリナートーク ・教室での指導とティーチャートーク	授業内容確認課題
13	知識／能力	学習ストラテジー	・さまざまな教授法 ・学習ストラテジーの指導法	授業内容確認課題
14	知識／能力	教材開発と評価法	・教材・教具 ・教材分析 ・評価の方法 ・テストの種類と目的	授業内容確認課題
15	知識／能力	ふり返りとまとめ	授業の進度調整、期末小テストを行う。	単位修得最終レポート

到達目標と学習成果

①知識レベル	日本語教育と第二言語習得に関する基本的な知識を身につける。
②能力レベル	・日本語を一つの言語として客観的に見ることができる。 ・自らの外国語学習体験と関連付けながら、非母語話者が日本語を学ぶ際の問題点を具体的に考えることができる。

C-PLATS (Level)到達基準

コミュニケーション	2	プレゼンテーション	2	リーダーシップ		行動力	1
創造力	1	計画力	1	論理的思考力	2	分析力	1
チームワーク力		社会的責任	1				

成績評価の基準と方法	出席率（30%）、提出課題（30%）を客観的に算出し、授業への参加度を含む意見発表と取組み姿勢(小テスト含む)など（40%）を総合的に評価する。
教科書	高見澤孟ほか著『新・はじめての日本語教育1-日本語教育の基礎知識-』アスク出版、2016年、ISBN9784872179934
参考図書	荒川洋平『日本語教育のスタートライン』スリーエーネットワーク 坂本正ほか監修『日本語教育への道しるべ 第2巻』凡人社 鈴木基伸・梅野由香里『日本語教育の始め方』研究社
授業に関する質問等の方法	①chanco@otemae.ac.jpまでメールで質問をしてください。 ②(事前約束をして)オフィスアワー内に研究室に来てください。
備考	2回目以降の授業を特別な理由なく4回以上欠席した場合は、単位の取得が困難となります。諸般の事情で授業の進捗が変更される場合があります。 【本授業は、実務経験を有する教員が担当し、当該の経験を活かした内容を教授します】

開講年度	2023	開講学期	春学期	
科目コード	ZKA206	授業コード	40630	
科目名	日本語音声学・音韻論	開講曜日・時限	木曜2限	
担当教員名【代表】	恩塚 千代 (Chiyo Onzuka)			
担当教員				
授業形態	講義			
単位数	2単位			
メジャー名	該当メジャーは、入学年度の履修ガイドを確認すること。			
授業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の音声・音韻、文字・表記に関する基礎知識を身に付ける。 音声と文字との関連性、音韻認識と表記のメカニズム等の問題について、理解・分析ができ、論理的に説明することができるようになる。 			
授業の内容				
①能力開発メソッド	帰納的・論理的思考力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力			
②課題レポート等	毎回の授業内容のまとめと整理。レポートは、授業内で出された課題の解答、発表を含む。			
③授業概要	<p>日本語教師として30年以上現場に立っている経験を活かし、日本語学習者の視点、ネイティブの視点を意識した日本語の「音声」「音韻」「文字・表記」に焦点を当てる。具体的には、日本語の音声を発するための発声器官のメカニズム、その音を聞いて日本語の音韻として認識していく仕組みについて学ぶ。また、その音韻と表記の関係についても考えていく。</p> <p>講義形式ではあるが、随時、課題解決のためのディスカッションや調査結果の発表など、学生参加型の授業を進めていく。</p> <p>また、教科書にある基本問題や応用問題を解きながら、「日本語教育能力検定試験」対策にも役立つようにする。</p>			
授業時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の授業内容について整理してまとめること。 授業内で出された課題解決のために、関連分野の資料などを参考にして、発表準備をする。 			
授業計画				
	目的	主題	概要	授業時間外学習
01	知識／能力	授業の概要説明	講義の目的を理解する。進め方、評価の方法、履修上のルールについて説明する。 ・五十音図とは ・日本語の清濁って何？	次回の予習
02	知識／能力	音と文字の基礎を固めよう	様々な語形変化 ・特殊音素 ・連濁、転音、同化、縮約形	基本問題・応用問題
03	知識／能力	音と文字の基礎を固めよう	音節と拍 ・音節と拍の数え方 ・拍の等時性 ・日本語の文字(かな)は表音文字？	基本問題・応用問題
04	知識／能力	音と文字の基礎を固めよう	超分節的特徴 ・アクセント ・イントネーション ・プロミネンス ・リズム、ポーズ	基本問題・応用問題
05	知識／能力	子音(調音点と調音法)	いよいよ音声記号にチャレンジ ・子音の調音(調音点と調音法)	基本問題・応用問題
06	知識／能力	子音、半母音(調音点と調音法)	・子音の(調音)分類とまとめ ・半母音について学ぶ。	基本問題・応用問題
07	知識／能力	母音(舌の高さ、舌の位置、唇の円め)	日本語の母音と外国語の母音を比較する。	基本問題・応用問題
08	知識／能力	環境や歴史的な音声の変化	・唇音退化、八行転呼、四つ仮名問題 ・口蓋化(拗音)	基本問題・応用問題
09	知識／能力	前半の振り返り	子音、半母音、母音の調音と超分節的特徴についての復習。	確認小テスト
10	知識／能力	音声学と音韻論	音素とは何か？ ・日本語の音素の数は？	基本問題・応用問題

			<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特殊音素 ・異音 ・相補分布 	
11	知識／能力	音節構造	<ul style="list-style-type: none"> ・複合語のアクセント ・特殊拍とアクセントとの関係 ・ゆれ、その他 	基本問題・応用問題
12	知識／能力	日本語の文字・表記	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の文字（漢字、ひらがな、カタカナ）のメリット・デメリットについて考える。 ・濁点、半濁点はどんな機能を持っているか。 	基本問題・応用問題
13	知識／能力	日本語教育における音声学と音韻論	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者の誤りの傾向(母語別) ・拍の指導 ・子音、母音の指導 ・アクセント、イントネーションの指導 	グループ発表のテーマ決め、準備
14	知識／能力	ふり返りとまとめ	グループでひとつの課題(今までの授業で出てきた課題の中から選択)を発表する。	発表内容のレポート(最終レポート)
15	知識／能力	ふり返りとまとめ	グループでひとつの課題(今までの授業で出てきた課題の中から選択)を発表する。	発表内容のレポート(最終レポート)

到達目標と学習成果

①知識レベル	現代日本語の音声の特徴について理解し、さらに音韻認識と文字表記との関係について、基本的な事柄を理解する。
②能力レベル	音声・音韻と文字・表記との間にどのようなメカニズムがあるか等、音声・音韻、文字・表記に関して分析する力があり、論理立てて説明ができる。

C-PLATS (Level)到達基準

コミュニケーション	1	プレゼンテーション	2	リーダーシップ		行動力	1
創造力	1	計画力		論理的思考力	2	分析力	2
チームワーク力	1	社会的責任					

成績評価の基準と方法	出席率（30%）、提出課題（30%）を客観的に算出し、授業への参加度を含む意見発表と取組み姿勢(発表含む)など（40%）を総合的に評価する。
教科書	松崎寛・河野俊之『日本語教育 よくわかる音声』アルク、ISBN-9784757430938
参考図書	名柄迪監修『日本語教師トレーニングマニュアル1 日本語の音声入門』バベル・プレス 鹿島央『日本語教育をめざす人のための 基礎から学ぶ音声学』スリーエーネットワーク 加藤重広・安藤智子『基礎から学ぶ音声学講義』研究社
授業に関する質問等の方法	①chanco@otemae.ac.jpまでメールで質問をしてください。 ②(事前約束をして)オフィスアワー内に研究室に来てください。
備考	2回目以降の授業を特別な理由なく4回以上欠席した場合は、単位の取得が困難となります。諸般の事情で授業の進捗が変更される場合があります。 【本授業は、実務経験を有する教員が担当し、当該の経験を活かした内容を教授します】

第3課 評決



【ウォーミングアップ】

(1) あなたは事件の^{さいばん}裁判に関心がありますか。

・また、実際に裁判を見たことがありますか。参加したことがありますか。

(2) 数人の^{さいばんかん}裁判官(判事)が^{ひょうけつ}評決を出すこと(有罪か無罪かを定めること)についてどう思いますか。

(3) あなたの国には、一般の国民が裁判に参加する制度(^{ばいしんいんせいど}陪審員制度)がありますか。

(4) 他にどんな国が、このような制度をもっていますか。

それには、どのような長所・短所があると思いますか。

【シチュエーション I】 ^{まんび}万引きの^{じつじょう}実情

① 万引きによる大型スーパーの損失は、売上高の 2~4% であり、^{おうべい}欧米諸国ではそのうちの 50% が^{じゅうぎょういん}従業員によるものだと考えられている。

② 万引きの大部分は食料品販売場以外で^{はっせい}発生し、その対象は、衣類、書籍、音楽 CD 等である。

③ 捕^{つか}まえられた^{まんび}万引き犯の 95% は^{ぬす}盗んだ物を買うのに十分な金を持っている。

④ 万引き犯の大部分は学生、^{ちゅうねんそう}中年層、^{ちゅうしよとくしゃそう}中所得者層で、しばしば、女性が^{ほんにん}犯人の場合が多い。

⑤ 万引きは^{じょうしゅうせい}常習性がある。

⑥ 盗^{ぬす}まれた物品は、生活^{せいかつひつじゅひん}必需品ではない場合が多く、実際に欲しいものを^と盗るわけではない。

⑦ 万引は^{せつとうざい}窃盗罪であり、10 年以下の^{ちようえき}懲役もしくは 50 万円以下の^{ばつぎんけい}罰金刑が^か科せられる。



【アクティビティー I】

人々が万引きをする原因はなんだと思いますか。また、どうしたら防げるとと思いますか。また、万引きの常習者にはどのような刑が適当だと思いますか。あなたの意見を言ってみましょう。

	原因	防御対策	刑
学生(子供)			
女性			
一般 (中産階級)			

◆裁判員制度とは？

2004年5月21日「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」が成立し、2009年5月21日から裁判員制度が始まった¹。裁判員制度とは、くじで選ばれた6人の一般国民が裁判員として刑事裁判に参加し、被告人が有罪かどうか、また有罪の場合どのような刑に処するかを裁判官と一緒に決める制度である。国民が刑事裁判に参加することにより、裁判が身近で分かりやすいものとなり、司法に対する国民の信頼を向上させることが期待されている。しかし、もちろん辞退希望をして辞退事由が認められる場合には、強制されることはない。

◆裁判員の仕事と役割

1. 公判に立ち会う

裁判員に選ばれたら、裁判官と一緒に刑事事件の法廷(これを公判という)に立ち会い、判決まで関与する。公判では、証拠書類を取り調べるほか、証人や被告人に対する質問が行われる。裁判員から証人に質問することもできる。



2. 評議・評決

証拠をすべて調べたら、次に、事実を認定し、被告人が有罪か無罪か、もし有罪ならばどんな刑

¹ 日本では、戦前・戦中にも「陪審制度」が行われていたが、その制度では、有罪かどうかは陪審員が決め、有罪の場合にどのような刑にするかを裁判官が決めるものだった。これに対して、新しい裁判員制度は、裁判員と裁判官と一緒に、有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするかを決める制度である。

に処すべきかを、裁判官と一緒に議論し(評議)、決定する(評決)。評議を 尽くしても、意見の全員 一致 が得られなかったとき、評決は 多数決 により行われる。ただし、裁判員だけによる意見では、被告人に不利な判断(被告人が有罪か無罪かの評決の場面では、有罪の判断)をすることはできず、裁判官1人以上が多数意見に賛成していることが必要。しかし、有罪か無罪か、有罪の場合の刑に関する裁判員の意見は、裁判官と同じ重みを持つことになる。

◆どんな事件を扱うか？

裁判員制度の対象となる代表的な事件には、以下のようなものがある。

- 人を殺した場合(殺人)
- 強盗 が、人にけがをさせ、あるいは、死亡させてしまった場合(強盗 致死傷)
- 人にけがをさせ、死亡させてしまった場合(傷害 致死)
- 泥酔した状態で、自動車を運転して人をひき、死亡させてしまった場合(危険 運転 致死)
- 人の住む家に 放火 した場合(現住 建造物 等 放火)
- 身の 代金 を取る目的で、人を 誘拐 した場合(身の代金目的誘拐)
- 子供に食事を与えず、放置したため死亡してしまった場合(保護 責任者 遺棄 致死)
- 財産上の利益を得る目的で 覚せい 剤 を 密輸入 した場合(覚せい 剤 取締法 違反)

《ミッション 03: 有罪か無罪か?》

【シチュエーションⅡ】

1. 検察側の 陳述

野村 聖人 (28 歳) はフリーターで、11 月 22 日の深夜 に市内のスーパーに 窃盗 目的で 侵入 した。しかし、売り上げ計算のために店内に残っていた店長、山内 勝 (41 歳) と 争い になり、持っていた 刃渡り 18 cm の 文化 包丁 で 腹部 を 刺し、死亡 に 至らせた。これは、自分の利益のために人の命を軽んじる、残酷 な 犯行 である。その後、01 時 20 分頃、駅前 をパトロール中の 警官 に 職務 質問 されたところ、この警官を 殴って、全治 3 週間 のケガを 負わせて 逃走 した。よって、第 1 級 強盗 殺人 罪、及び 公務 執行 妨害、傷害 罪 を 適応 し、無期 懲役 を 求刑 する。

[補足情報]

- 凶器 と思われる包丁からは 容疑者、野村聖人以外の 指紋 は発見されていない。
- 被害者 の 死亡 推定 時刻 は午後 11 時から午前 1 時。
- 店内の金庫からは、その日の 売上金、86 万円の 現金 がなくなっている。

・容疑者は以前、このスーパーでアルバイトをしており、店内の様子をよく知っていた。

2. 野村聖人の陳述

私は無実です。あのスーパーでは、以前アルバイトをしていましたが、商品を万引したと濡れ衣を着せられてクビになりました。いつも商品を盗んでいたのは、本当は他の店員だったのに…。あの日は、夜の 12 時まで友達と一緒に駅前^{えきまえ}の居酒屋^{いざかや}で酒を飲んでいました。一旦はそのまま家に帰ろうとしたのですが、クビになったことが悔しくて、腹いせに本当に泥棒^{どろぼう}に入ってやろうと急に思いついたんです。それで、また家と反対の方向に引き返して、従業員^{じゅうぎょういん}通用口^{つうようぐち}から中に忍び込んだんです。だから、居酒屋を出てから、1 時間ぐらい歩いたかもしれません。

そして、売上金^{うりあげきん}を入れる金庫室^{きんこしつ}に行ったら、もう店長が殺されていたんです。そこに包丁が落ちていたので、拾^{ひろ}ってみたら血がついていたので、そこに放り投^{ほうりな}げて逃げたんです。そのあと、警官^{けい官}を殴^{なぐ}ったことは認めます。とても申し訳ないと思っています。でも、捕^{つか}まったら自分が犯人にされると思って、とても怖^{こわ}かったです。

[補足情報]

・居酒屋の主人と友達の証言^{しょうげん}から、容疑者が 12 時まで酒を飲んでいたという裏付け^{うらづけ}が取れている。

しかし、その後のアリバイはない。

・容疑者はかなり酒に酔^よっていた。

・駅前から犯行現場までは歩いて 30 分かかる。

・3 日前に、容疑者は市内^{はものてん}の刃物店^{ほうちゆう}で包丁^{はんめい}を買ったことが判明した。

3. スーパー従業員の証言^{しょうげん}

はい、容疑者は以前、うちのスーパーでアルバイトをしていました。仕事は比較^{ひかくてき}的^{まじめ}真面目^{まじめ}でしたが、態度^{たいど}が反抗^{はんこうてき}的^{てき}で、お客さんや先輩に対する言葉遣^{ことばづか}いも悪くて、よく注意されていました。それで、店内の商品がよく万引きされることがあって、監視^{かんし}カメラで見ると従業員^{じゅうぎょういん}の犯行^{はんこう}だってわかって。それで彼がクビになったのですが、その後もかなり、このスーパーと店長を恨^{うら}んでいたようです。

[補足情報]

・その後の調査で、商品を盗んでいた他の店員達もクビになっていたことがわかった。

4. 近所^{きんじよ}の住民の証言

12 時 30 分頃、ゴミを出しに家の外に出たら、スーパーの裏口^{うらぐち}から男たちが飛び出してきたんです。間違いありません、あの男です。あの容疑者です。すごく慌^{あわ}てていました。エッ？男たち？そう

です。一人じゃありません。背の高い男と二人だったと思います。

[補足情報]

・スーパーの従業員通用口には街灯がなく、暗い。この証人の視力は0.2である。

5. 弁護側の陳述

被告 本人が認めているように、当日、被告がスーパーに侵入したことは事実であるが、被害者はすでに何者かに殺されていて、売上金も盗まれていました。それが証拠に、その日のうちに逮捕された被告の持ち物から86万円の現金は見つかっていません。また、警官を殴ったことは本人も認めますが、それは恐怖のために心神喪失の状態であり、情状酌量の余地があります。

したがって、被告の罪は、侵入窃盗未遂、公務執行妨害と警官に対する傷害罪で、懲役1年執行猶予3年を主張します。

[語彙・語句]

a) 次の言葉の意味を調べましょう。

- ①窃盗 ②刃渡り ③文化包丁 ④職務質問 ⑤公務執行妨害 ⑥全治 ⑦凶器
- ⑧売上金 ⑨濡れ衣(を着せる) ⑩腹いせ ⑪裏付け ⑫アリバイ ⑬犯行
- ⑭心神喪失 ⑮情状酌量(の余地がある) ⑯未遂 ⑰懲役 ⑱執行猶予

b) 法廷と公判・評決に関係あるその他の表現を探し出して、意味を確認しなさい。

【アクティビティーⅡ】

判事、裁判員、検察官、弁護士はそれぞれの立場から、被告:野村聖人が有罪か無罪かを評議しましょう。そして、有罪の場合、どのような刑罰が適当か、評決を出しなさい。

[登場人物]

- 1) 裁判官1: 検察側の説明、被告側の説明、証人からの事情聴取、事件の概括、すべてを考慮して評決を出さなければならない。彼は、非常に冷静で、常に公平で論理的な評決を出す裁判官として評価が高い。
- 2) 裁判官2: 多くの殺人事件を経験してきた。常に、温情的な評決を出す人物。老齢の彼はこの裁判を最後に定年退職の予定である。
- 3) 裁判官3: 司法試験を優秀な成績で合格した後、検察官を経て、裁判官になった。エリートコー

スを歩んできた若い裁判官である。但し、殺人事件の裁判はこれが初めてだ。彼は個人的には、ちゃんとした職業を持たずに犯罪を起こすような人間を軽蔑している。

4) 被告: 野村聖人は真面目に勉強しなかったために、大学を卒業できず、中退。そのため、きちんとした会社に就職できないまま、今まで適当にアルバイトなどをして生活してきた。自分に命令する相手には反抗的で、自分がこうなったのは社会のせいだと思っている。

5) 検察官: 被告が罪を犯したと、証拠を立証する証人を提示しなければならない。また、被告側の証人に反対尋問し、疑惑を明らかにしなければならない。

6) 弁護士: 被告がスーパーに窃盗目的で侵入したことは本人も認めているように、事実であり、今回はまったくの無実を主張するのは難しいが、少なくとも、殺人に関しては無実だと信じている。可能なかぎり刑を軽くするように努力しなければならない。

7) 裁判員1: 名前、年齢、性別、職業、性格などを自分自身で設定して、その役割を演じながら、その立場で討議しなさい。

8) 裁判員2: 裁判員1と同様。

9) 裁判員3: 裁判員1と同様。

10) 裁判員4: 裁判員1と同様。

11) 裁判員5: 裁判員1と同様。

12) 裁判員6: 裁判員1と同様。

13) 被告側の証人: 被告に有利な事実や証言をしなさい。

14) 検察側の証人: 検察側が主張する殺人の証拠になるように証言しなさい。

15) 目撃者: 検察官や弁護人の質問に答えて、自分が見たとおりのことを述べなさい。

[参考資料] 裁判員に関する意識調査

裁判員制度への国民意識について 2005年2月に裁判員制度における刑事裁判への参加意識(内閣府)によれば、

(1) 制度導入後の裁判について

a. 専門家でない裁判員により適切でない判決が出る(39.3%)

b. 犯罪・治安のことを自分のこととして考える意識が高まる(31.2%)

c. 裁判に国民感覚が反映され、司法への国民の理解・信頼が深まる(27.6%)

d. 刑事裁判の^{てつぎ はんけつ} 手続・判決 がわかりやすくなる(27.0%)

などの回答が得られている。

また、2006年12月に実施された裁判員制度に関する特別世論調査によれば、

(2) 裁判員として参加したいかについて

- a. 参加したい(5.6%、前回 4.4%)
- b. 参加してもよい(15.2%、前回 21.2%)
- c. あまり参加したくないが、義務であるなら参加せざるをえない(44.5%、前回 34.9%)
- d. 義務であっても参加したくない(33.6%、前回 35.1%)

(3) 刑事裁判に参加する場合に不安を感じる点について

- a. 自分達の判決で被告人の運命が決まるため責任を重く感じる(64.5%)
- b. ^{れいせい}冷静に判断できるか自信がない(44.5%)
- c. 裁判の^{しく}仕組みが分からない(42.0%)
- d. 専門家である裁判官の前で自分の意見を発表することができるか自信がない(40.5%)
- e. 被告人やその関係者の^{さかうら}逆恨み等による身の安全性(39.1%)

などの結果が出ている。

[討論表現]

(1) 証言を^{ゆうどう}誘導する

- ・〇月◇日の午後1時30分に、何があったか、思い出せる限り正確に説明してください。
- ・あなたが見たことをここで詳しく話してみてください。
- ・あなた以外に、それを見た人はいませんか。
- ・私の質問に、「はい」か「いいえ」で答えてください。

(2) 証拠の真偽を明確にする

- ・そのことを、間違いなく言えますか？
- ・〇〇がその場にいたことは確かですか。
- ・その時間を正確に思い出せますか。
- ・それは本当ですか。
- ・^{ほうてい}法廷で^{うそ}嘘を言うと、^{つみ}罪に問われますよ。

(3) 法廷で使用する公式用語

- ・^{いぎ}異議あり！(相手の証言や陳述に疑問があったり、反対する場合)

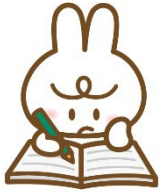
- ・それは誘導尋問ゆうどうじんもんです。(相手が、自分側に有利なように証人に何かを言わせようとする時)
- ・却下きやつかします。(裁判官が検察官や弁護士の意義を認めない時)
- ・この事件には、関係ないことを言おうとしています。
- ・ここで、証人を呼びたいと思います。
- ・30分間、休廷きゅうていします。(議論が白熱はくねつしたり、別の方向にずれている時、裁判官が決定する休憩)
- ・反対尋問はんたいじんもん(相手が召還しょうかんした証人に、反対のことを言わせるためにする質問。)
- ・最終陳述さいしゅうちんじゆつ(検察側、弁護側が、評議の最後に述べる自分の意見、主張。)
- ・被告は最後に何か言いたいことがありますか。(被告が言える意見。)

【タスク】

この事件に関して、あなたの出した評決とその根拠こんきよを論理的に説明して、報告書を提出しなさい。その評決ひょうけつに自信がありますか。結果に満足していますか。

【発展討論】

- あなたの国では、重犯罪じゅうはんざいに対する刑罰けいばつをどのように科していますか。その刑罰は適切だと思いますか。
- あなたは裁判員として、裁判に参加したいですか。それはどうしてですか。
- 死刑について賛成ですか？反対ですか？それは何故ですか。



日本語総合 A II 課題レポート

□月□日 学生番号： _____ 名前： _____

《ミッション 03 有罪か無罪か？》p.8 の課題【タスク】を提出してください。(1/10 まで)

(1) あなたは野村聖人が無罪だと思いますか、有罪だと思いますか？あなたの出した判決とその根拠^{こんきよ}を論理的に説明して、報告書を提出しなさい。

主文[有罪 ・ 無罪 ・ 決められない] ←あなたの判決に○を付けなさい。

理由：

裏につづく

【発展問題】

a) あなたの国では重犯罪に対する刑罰として、どんなものがありますか。それは適切ですか。

b) (プリント資料の裁判員についての説明をよく読んだうえで)あなたは裁判員として、裁判に参加したいですか。したくないですか。それはどうしてですか。

c) 死刑について賛成ですか？反対ですか？それは何故ですか。

